

報告第7号

臨時代理の報告について

東広島市教育委員会教育長事務委任規則（平成20年東広島市教育委員会規則第2号）第4条第1項の規定により臨時に代理したので、同条第2項の規定により報告する。

令和2年2月20日提出

東広島市教育委員会
教育長 津 森 毅

1 臨時代理の要旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により、令和2年第1回東広島市議会定例会提出議案（令和元年度東広島市一般会計補正予算（第5号）（教育委員会関係分）、令和2年度東広島市一般会計当初予算、第五次東広島市総合計画の策定）に対し、市長から意見を求められたため同意する必要性が生じたが、緊急を要し、かつ、教育委員会の会議を招集する時間的余裕がなかったため、臨時に代理したものである。

2 市議会提出議案の内容

別紙のとおり。

3 臨時代理年月日

令和2年2月6日

4 根拠法令

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第25条 教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その権限に属す

る事務の一部を教育長に委任し、又は教育長をして臨時に代理させることができる。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる事務は、教育長に委任することができない。

(1)～(5) ー略ー

(6) 第27条及び第29条に規定する意見の申出に関すること。

3 教育長は、教育委員会規則で定めるところにより、第1項の規定により委任された事務又は臨時に代理した事務の管理及び執行の状況を教育委員会に報告しなければならない。

第29条 地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合には、教育委員会の意見をきかなければならない。

東広島市教育委員会教育長事務委任規則

第4条 法第25条第1項に基づき、教育長は、法第25条第2項各号及び第1条各号に掲げる事務について、緊急を要する事案で、かつ、教育委員会の会議を招集する時間的余裕がないと認めるとき、又は当該会議が成立しないときは、当該事務を臨時に代理することができる。

2 教育長は、前項の規定により臨時に代理したときは、その事項を次の教育委員会の会議に報告しなければならない。

令和元年度東広島市一般会計補正予算（第5号）（教育委員会関係分）

1 歳入歳出予算の補正

(1) 歳入

(単位:千円)

款 項 目	補正額	説 明
16款 国庫支出金		
1項 国庫負担金		
3目 教育費国庫負担金	△ 16,982	小学校新增築国庫負担金 △ 16,982
2項 国庫補助金		
6目 教育費国庫補助金	461,083	幼稚園就園奨励費国庫補助金(私立分) △ 2,885 学校・家庭・地域連携協力推進事業費国庫補助金 117 教育支援体制整備事業費国庫補助金(小学校) △ 67 へき地児童生徒援助費等国庫補助金(小学校) 3,154 理科教育等設備整備費国庫補助金(小学校) △ 22 特別支援教育就学奨励費国庫補助金(小学校) 350 学校施設環境改善交付金(プール新築)(小学校) 246 学校施設環境改善交付金(大規模改造)(小学校) 192,978 情報通信環境施設整備費国庫補助金(小学校) 191,200 特別支援教育就学奨励費国庫補助金(中学校) △ 400 学校施設環境改善交付金(大規模改造)(中学校) 24,533 情報通信環境施設整備費国庫補助金(中学校) 68,300 社会教育施設災害復旧事業国庫補助金 5,137 文化財保存事業費国庫補助金 △ 21,558
17款 県支出金		
2項 県補助金		
7目 教育費県補助金	△ 1,923	「学びの变革」推進寄附事業県補助金 300 「山・海・島」体験活動推進事業県補助金 △ 400 教育環境充実支援事業県補助金 △ 948 部活動指導者配置事業県補助金 △ 66 放課後子供教室事業県補助金 △ 809
20款 繰入金		
1項 繰入金		
2目 基金繰入金	△ 165,024	地域振興基金繰入金(過疎地域自立促進基金)(関係分) △ 6,488 地域振興基金繰入金(災害支援寄附金)(関係分) △ 3,790 公共施設総合管理基金繰入金(関係分) △ 99,834 スポーツ振興基金繰入金 △ 380 広島空港周辺整備基金繰入金 △ 2,500 文化体育施設建設基金繰入金 △ 52,032
22款 諸収入		
5項 雑入		
3目 雑入	△ 10,117	文化財発掘調査負担金 △ 9,855 外国語指導助手自己負担金 △ 126 日本スポーツ振興センター掛金(小中幼) △ 136
23款 市債		
1項 市債		
6目 教育債	1,535,400	小学校増改築事業債 △ 24,200 小学校大規模改造事業債 916,200 中学校大規模改造事業債 377,100 小学校情報通信環境施設整備事業債 191,200 中学校情報通信環境施設整備事業債 68,300 美術館建設事業債 6,800
合 計	1,802,437	

(2)歳出

(単位:千円)

款 項 目	補正額	説 明	
10款 教育費			
1項 教育総務費			
1目 教育委員会費	△ 244	教育委員会運営事務	△ 244
2目 事務局費	△ 26,872	職員給与	△ 5,500
		私立学校等助成事業	△ 106
		学事一般事務	△ 266
		幼稚園就園奨励事業	△ 21,000
3目 教育推進費	△ 12,062	教育交流事業	△ 972
		学校教育推進事業	△ 1,714
		学校の元気応援事業	△ 136
		部活動等支援事業	△ 339
		特別支援教育推進事業	84
		未来創造キャリア形成事業	△ 4,652
		外国語教育推進事業	△ 3,390
		学校図書館運営事業	△ 127
		生徒指導推進事業	△ 816
2項 小学校費			
1目 学校管理費	△ 24,458	小学校一般管理事業	20,527
		小学校施設管理事業	△ 26,300
		小学校運営事業	△ 800
		小学校教育支援者配置事業	△ 10,559
		小学校通学支援事業	△ 7,326
2目 教育振興費	363,244	小学校教育振興一般事業	487
		小学校理科教育振興事業	△ 43
		小学校情報教育推進事業	364,900
		小学校就学援助事業	△ 2,800
		小学校就学奨励事業	700
3目 学校建設費	1,032,699	小学校大規模改造事業	1,099,734
		小学校増改築事業	△ 67,035
3項 中学校費			
1目 学校管理費	△ 10,934	中学校一般管理事業	2,288
		中学校施設管理事業	△ 2,905
		中学校運営事業	△ 500
		中学校教育支援者配置事業	△ 4,413
		中学校通学支援事業	△ 5,404
2目 教育振興費	112,682	中学校教育振興一般事業	382
		中学校情報教育推進事業	119,100
		中学校就学援助事業	△ 6,000
		中学校就学奨励事業	△ 800
3目 学校建設費	373,994	中学校大規模改造事業	373,994
4項 幼稚園費			
1目 幼稚園費	△ 7,478	職員給与	△ 3,500
		幼稚園施設管理事業	財源更正
		幼稚園運営事業	△ 2,840
		幼稚園教育補助員配置事業	△ 1,138

(単位:千円)

款 項 目	補正額	説 明
5項 社会教育費		
1目 社会教育総務費	△ 1,944	職員給与 △ 1,000 生涯学習一般事務 △ 274 芸術文化振興事業 内容更正 青少年健全育成事業 △ 235 児童青少年センター管理運営事業 △ 435
2目 社会教育振興費	△ 1,854	生涯学習活動推進事業 △ 189 生涯学習施設管理運営事業 △ 1,665
3目 美術館費	△ 37,789	美術館管理運営事業 △ 608 美術館活動事業 △ 849 美術館建設事業 △ 36,332
4目 図書館費	△ 8,429	図書館管理運営事業 △ 8,429
5目 文化財保護費	△ 41,965	指定文化財等管理活用事業 △ 498 文化財調査保護事業 △ 231 文化財施設等整備事業 △ 30,854 埋蔵文化財調査事業 △ 9,862 出土文化財管理活用事業 △ 520
6項 保健体育費		
1目 保健体育総務費	△ 13,324	学校保健事業 △ 5,894 学校体育推進事業 △ 698 スポーツ活動活性化事業 △ 2,251 オリンピック事前合宿推進事業 △ 4,481
2目 体育施設費	△ 8,685	スポーツ施設管理運営事業 △ 3,211 スポーツ施設整備事業 △ 3,200 学校体育施設開放事業 △ 2,274
3目 給食センター費	△ 40,736	学校給食管理運営事業 △ 1,571 学校給食センター管理運営事業 △ 39,165
11款 災害復旧費		
1項 災害復旧費		
3目 公共施設災害復旧費	0	体育施設災害復旧事業 財源更正
合 計	1,645,845	

2 繰越明許費補正

追加

(単位:千円)

款	項	事業名	金額
10 教育費	2 小学校費	小学校情報教育推進事業	382,400
		小学校大規模改造事業	1,123,184
		小学校増改築事業	499,447
		小学校施設改修事業	51,680
	3 中学校費	中学校情報教育推進事業	136,600
		中学校大規模改造事業	466,556
	4 幼稚園費	幼稚園施設改修事業	18,207
	5 社会教育費	文化財調査保護事業	4,743

変更

(単位:千円)

款	項	事業名	補正前	補正後
10 教育費	5 社会教育費	文化財施設等整備事業	2,500	6,900

3 債務負担行為補正

(1)追加

(単位:千円)

事項	期間	限度額
河内スポーツアリーナ及び入野区民グラウンド管理	令和元年度から令和4年度まで	6,509

(2)変更

(単位:千円)

事項	補正前		補正後	
	期間	限度額	期間	限度額
中央生涯学習センター主催講座等業務委託	令和元年度から令和2年度まで	10,505	令和元年度から令和2年度まで	10,574

4 地方債補正

変更

(単位:千円)

起債の目的	限度額	
	補正前	補正後
義務教育施設整備事業	875,400	2,404,000
美術館建設事業	613,000	619,800

令和2年度東広島市一般会計歳入歳出予算（教育委員会関係分）

(1) 歳入

(単位：千円)

款 項	目	令和2年度	令和元年度	増減額
11款2項 子ども・子育て支援 臨時交付金	1 子ども・子育て支援臨時交付金 (関係分)	0	41,773	△ 41,773
15款1項 使用料	8 教育使用料	59,469	61,151	△ 1,682
16款1項 国庫負担金	3 教育費国庫負担金	362,366	146,708	215,658
16款2項 国庫補助金	1 総務費国庫補助金（関係分）	384	630,475	△ 630,091
	7 教育費国庫補助金	342,518	137,106	205,412
17款1項 県負担金	9 教育費県負担金	103,965	54,355	49,610
17款2項 県補助金	8 教育費県補助金	14,309	10,558	3,751
17款3項 県委託金	5 教育費県委託金	0	400	△ 400
18款1項 財産運用収入	1 財産貸付収入（関係分）	1,916	1,469	447
20款1項 繰入金	2 基金繰入金（関係分）	233,014	370,638	△ 137,624
22款3項 貸付金元利収入	5 教育費貸付金元利収入	2,728	3,623	△ 895
22款5項 雑入	3 雑入（関係分）	38,608	30,243	8,365
23款1項 市債	6 教育債	2,139,200	1,488,400	650,800
合 計		3,298,477	2,976,899	321,578

(2) 歳出

●教育総務費

(単位：千円)

款項目	名称	事業名	令和2年度	増減額	款項目	名称	事業名	令和元年度
10款1項1目	教育委員会費	教育委員会運営事務	3,911	△ 83	10款1項1目	教育委員会費	教育委員会運営事務	3,994
		計	3,911	△ 83			計	3,994
10款1項2目	事務局費	特別職給与	14,532	65	10款1項2目	事務局費	特別職給与	14,467
		職員給与	447,326	△ 7,668			職員給与	454,994
		教育委員会事務局管理事務	14,224	9,017			教育委員会事務局一般事務	5,207
		学事管理事務	4,130	△ 733				4,863
		※全部					学事一般事務	4,832
		※全部					奨学金貸付事業	31
	計	480,212	681		計	479,531		
10款1項3目	教育推進費	教育交流事業	3,022	△ 1,661	10款1項3目	教育推進費	教育交流事業	4,683
		私立学校等助成事業	3,159	1,001	10款1項2目	事務局費	私立学校等助成事業	2,158
		学校教育推進事業	142,926	121,229	10款1項3目	教育推進費		21,697
		※分割した一部					学校教育推進事業	21,317
		※分割した一部			学校体育推進事業	380		
		学校の元気応援事業	62,143	21,610		40,533		
		※分割した一部			学校教育推進事業	8,053		
		※全部			学校の元気応援事業	29,590		
		※分割した一部			学校体育推進事業	2,890		
		部活動等支援事業	27,871	4,519	10款6項1目	保健体育総務費	部活動等支援事業	23,352
		※全部			10款1項3目	教育推進費	部活動等支援事業	23,341
		※分割した一部					学校体育推進事業	11
		特別なニーズへの支援事業	10,527	3,931		6,596		
		※全部			特別支援教育推進事業	6,256		
		※分割した一部			学校教育推進事業	340		
		未来創造キャリア形成事業	3,828	966	未来創造キャリア形成事業	2,862		
		科学の芽育成事業	16,310	10,759		5,551		
		※全部			理科観察実験アシスタント配置事業	878		
		※分割した一部			未来創造キャリア形成事業	4,640		
		※分割した一部			学校教育推進事業	33		
外国語教育推進事業	105,255	3,120	外国語教育推進事業	102,135				
学校図書館運営事業	29,790	△ 8,601	学校図書館運営事業	38,391				
生徒指導推進事業	39,465	9,012	生徒指導推進事業	30,453				
学校保健事業	96,132	1,643	10款6項1目	保健体育総務費	学校保健事業	94,489		
計	540,428	167,528		計	372,900			

●小学校費

(単位：千円)

款項目	名称	事業名	令和2年度	増減額	款項目	名称	事業名	令和元年度
10款2項1目	学校管理費	小学校管理事業	663,240	122,821	10款2項1目	学校管理費		540,419
		※全部					小学校一般管理事業	314,896
		※全部					小学校施設管理事業	225,523
		小学校運営事業	21,210	8,638			小学校運営事業	12,572
		小学校通学支援事業	71,048	1,184			小学校通学支援事業	69,864
		小学校情報機器管理事業	280,283	113,266			10款2項2目	教育振興費
計	1,035,781	245,909	計	789,872				
10款2項2目	教育振興費	小学校教育支援者配置事業	205,124	22,088	10款2項1目	学校管理費	小学校教育支援者配置事業	183,036
		小学校教材整備事業	27,248	0	10款2項2目	教育振興費		27,248
		※全部					小学校教育振興一般事業	25,299
		※全部			小学校理科教育振興事業	1,949		
		小学校就学支援事業	92,917	4,399		88,518		
		※全部			小学校就学援助事業	83,518		
		※全部			小学校就学奨励事業	5,000		
		小学校図書整備事業	9,121	83	小学校図書整備事業	9,038		
計	334,410	26,570		計	307,840			
10款2項3目	学校建設費	小学校施設整備事業	2,276,802	1,386,968	10款2項3目	学校建設費		889,834
		※全部					小学校大規模改造事業	15,400
		※全部					小学校増改築事業	771,534
		※全部					小学校施設改修事業	102,900
		計	2,276,802	1,386,968			計	889,834

●中学校費

(単位：千円)

款項目	名称	事業名	令和2年度	増減額	款項目	名称	事業名	令和元年度		
10款3項1目	学校管理費	中学校管理事業	269,990	34,684	10款3項1目	学校管理費		235,306		
		※全部					中学校一般管理事業	163,036		
		※全部					中学校施設管理事業	72,270		
		中学校運営事業	32,283	4,007			中学校運営事業	28,276		
		中学校通学支援事業	24,008	△ 1,000			中学校通学支援事業	25,008		
		中学校情報機器管理事業	140,749	48,413			10款3項2目	教育振興費	中学校情報教育推進事業	92,336
		計	467,030	86,104					計	380,926
10款3項2目	教育振興費	中学校教育支援者配置事業	82,090	13,994	10款3項1目	学校管理費	中学校教育支援者配置事業	68,096		
		中学校教材整備事業	23,255	4,440	10款3項2目	教育振興費		18,815		
		※全部					中学校教育振興一般事業	17,461		
		※全部					中学校理科教育振興事業	1,354		
		中学校就学支援事業	82,022	3,693				78,329		
		※全部					中学校就学援助事業	74,129		
		※全部					中学校就学奨励事業	4,200		
中学校図書整備事業	5,692	52	中学校図書整備事業	5,640						
計	193,059	22,179	計	170,880						
10款3項3目	学校建設費	中学校施設整備事業	1,138,037	577,555	10款3項3目	学校建設費		560,482		
		※全部					中学校大規模改造事業	549,982		
		※全部					中学校施設改修事業	10,500		
		計	1,138,037	577,555			計	560,482		

●幼稚園費

(単位：千円)

款項目	名称	事業名	令和2年度	増減額	款項目	名称	事業名	令和元年度		
10款4項1目	幼稚園費	職員給与	91,344	2,576	10款4項1目	幼稚園費	職員給与	88,768		
		幼児教育支援事業	422,274	109,551	10款1項2目	事務局費	幼稚園就園奨励事業	312,723		
		私立幼稚園助成事業	1,605	△ 267			私立幼稚園助成事業	1,872		
		幼稚園管理事業	14,232	2,330	10款4項1目	幼稚園費		11,902		
		※全部					幼稚園管理事業	7,328		
		※全部					幼稚園施設管理事業	4,574		
		幼稚園施設整備事業	2,700	△ 15,507			幼稚園施設改修事業	18,207		
		幼稚園運営事業	14,567	5,326			幼稚園運営事業	9,241		
		幼稚園教育推進事業	23,495	870				22,625		
		※全部					幼稚園教育補助員配置事業	22,077		
		※分割した一部					10款1項3目	教育推進費	学校教育推進事業	548
		計	570,217	104,879					計	465,338

●社会教育費

(単位：千円)

款項目	名称	事業名	令和2年度	増減額	款項目	名称	事業名	令和元年度	
10款5項1目 社会教育総務費		職員給与	280,281	8,816	10款5項1目 社会教育総務費		職員給与	271,465	
		生涯学習管理事務	4,556	△ 270			生涯学習一般事務	4,826	
		成人式開催事業	4,611	246			成人式開催事業	4,365	
		芸術文化振興事業	242,298	3,591			芸術文化振興事業	238,707	
		青少年健全育成事業	41,937	4,314				37,623	
		※全部					青少年健全育成事業	18,198	
		※全部					児童青少年センター管理運営事業	19,425	
計	573,683	16,697	計	556,986					
10款5項2目 社会教育振興費		生涯学習活動推進事業	76,090	7,602	10款5項2目 社会教育振興費		生涯学習活動事業	68,488	
		生涯学習活動の推進 ※分割した一部	75,955				生涯学習活動事業	67,909	
		大学と連携した講座の開催 ※分割した一部	135				10款5項1目 社会教育総務費	人権教育推進事業	579
		※全部					10款5項2目 社会教育振興費		1,261
		大学連携事業	1,273	12			生涯学習活動推進事業	1,261	
		※分割した一部					生涯学習施設管理運営事業	172,987	
		生涯学習施設管理運営事業	247,288	74,301				215	
		文化芸術体験事業	2,629	2,414			10款5項5目 文化財保護費	指定文化財等管理活用事業	40
		※分割した一部					10款5項5目 文化財保護費	出土文化財管理活用事業	21
		※分割した一部					10款5項3目 美術館費	美術館活動事業	154
		※分割した一部						生涯大学システム運営事業	0
		生涯大学システム運営事業	0	0				市民文化センター管理運営事業	0
		市民文化センター管理運営事業	0	0			計	242,951	
計	327,280	84,329							
10款5項3目 美術館費		美術館管理運営事業	181,585	120,279	10款5項3目 美術館費		美術館管理運営事業	61,306	
		※全部					美術館管理運営事業	58,232	
		※分割した一部					美術館活動事業	3,074	
		美術館建設事業	267,773	△ 1,145,132			美術館建設事業	1,412,905	
計	449,358	△ 1,024,853	計	1,474,211					
10款5項4目 図書館費		図書館管理運営事業	345,779	22,899	10款5項4目 図書館費		図書館管理運営事業	322,880	
		計	345,779	22,899			計	322,880	
10款5項5目 文化財保護費		指定文化財等管理活用事業	21,096	1,219	10款5項5目 文化財保護費		指定文化財等管理活用事業	19,877	
		文化財調査保護事業	3,973	△ 4,946			文化財調査保護事業	8,919	
		文化財施設等整備事業	3,312	△ 35,467			文化財施設等整備事業	38,779	
		埋蔵文化財調査事業	15,999	△ 3,767			埋蔵文化財調査事業	19,766	
		出土文化財管理活用事業	12,646	1,547			出土文化財管理活用事業	11,099	
		歴史文化の伝承、出土文化財管理活用	12,541						
		大学連携、歴史体験事業	105						
計	57,026	△ 41,414	計	98,440					

●保健体育費

(単位：千円)

款項目	名称	事業名	令和2年度	増減額	款項目	名称	事業名	令和元年度
10款6項1目 保健体育総務費		職員給与	75,427	△ 2,101	10款6項1目 保健体育総務費		職員給与	77,528
		スポーツ活動活性化事業	47,926	△ 5,003				52,929
		※全部					スポーツ活動活性化事業	46,559
		※全部					スポーツ団体育成事業	6,370
		オリンピック事前合宿等推進事業	21,869	6,845			オリンピック事前合宿推進事業	15,024
計	145,222	△ 259	計	145,481				
10款6項2目 体育施設費		スポーツ施設管理運営事業	182,367	△ 929	10款6項2目 体育施設費		スポーツ施設管理運営事業	183,296
		スポーツ施設整備事業	100,569	△ 24,158			スポーツ施設整備事業	124,727
		学校体育施設開放事業	17,118	1,019			学校体育施設開放事業	16,099
		計	300,054	△ 24,068			計	324,122
10款6項3目 給食センター費		職員給与	344,828	△ 22,925	10款6項3目 給食センター費		職員給与	367,753
		学校給食管理運営事業	33,824	23,557			学校給食管理運営事業	10,267
		学校給食センター管理運営事業	951,378	61,839			学校給食センター管理運営事業	889,539
		計	1,330,030	62,471			計	1,267,559
合 計			10,568,319	1,714,092	合 計			8,854,227

第五次総合計画のまちづくり大綱における主な事業

【人づくり】 誰もが夢を持って成長し、活躍できるまち

(単位：千円)

事業名	予算額	主な事業内容	担当部局
2 乳幼児期における教育・保育の充実			
① 幼児教育・保育の充実 新 ○質の高い保育実践のための調査研究 新 ○電子母子手帳による子育て力向上 ○幼稚園、保育所、小学校の連携・接続充実	491,469	保育者の資質向上や幼保小連携・接続の充実を図るため、研修等を実施するとともに、家庭養育力の向上を支援し、子どもたちの健やかな成長と質の高い保育実践のための取組みを進めます。	こども未来部 学校教育部
3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践			
① 学校運営の支援と教育内容の充実 拡 ○多様な人材の活用による学校教育の充実 拡 ○小・中学校の施設整備等 拡 ○校務・学習用学校端末の整備及び管理	6,435,307	学校司書やコミュニティ・スクール推進員等の多様な人材の活用を通じて学校教育の充実を図るとともに、情報機器等の教材や学校統合に係る施設の整備等を進め、教育内容の多様化に対応します。	学校教育部
② 特別なニーズに対応した教育の充実 拡 ○小・中学校教育支援者の配置 拡 ○外国につながる児童生徒への教育の推進	475,839	学校教育支援員や教育補助員等を配置し、特別な支援を必要とする様々な障害のある児童生徒や、言葉や習慣等が異なる外国につながる児童生徒へのきめ細かい教育の推進を図ります。	学校教育部
③ 地域と連携した青少年健全育成の環境づくり 拡 ○生徒指導の推進 新 ○地域学校協働活動推進員の配置	81,402	心のサポーター等の配置拡充やスペシャルサポートルームの整備により、不登校等の課題解決に取り組みます。また、地域学校協働活動推進員を配置し、地域と学校の連携・協働活動を推進します。	学校教育部 生涯学習部
4 新たな価値を創造する人材の育成			
① 理科系教育分野等の教育内容の充実 新 ○科学の芽成長プロジェクトの実施 新 ○プログラミング体験器具の配備	16,310	体験的な学習を通じ、児童生徒の科学に対する好奇心や探求力を高めるとともに、学びの機会の充実を図ります。また、これからの時代に求められるプログラミング的思考を育むための教育環境の整備を進めます。	学校教育部
② 子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実 ○ひがしひろしまスペースクラブの実施 新 ○文化芸術体験事業の実施	2,764	市内の大学と連携した取組みにより、その知見を活用するとともに、美術館体験や出前博物館等で、文化芸術に直に触れる機会を提供し、子どもの興味関心を高め、創造性を伸ばします。	生涯学習部
5 知的資源と国際性を活かした人づくり			
① 大学・企業等との連携による学びの充実と国際感覚の醸成 ○未来創造及びキャリアの形成 ○大学等との連携・協働による学習機会の充実 ○外国籍の人等との交流による国際感覚醸成	5,241	大学で専門的な学びに触れたり、様々な事業所での体験を通じて、将来の進路を主体的に選択する力を育てます。また、大学等と連携した市民の豊かな学びの場や、外国籍の人等との交流を通じて、国際感覚を養います。	学校教育部 政策企画部 生涯学習部
6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり			
① 生涯を通じて地域で学び、活躍できる環境の整備 新 ○「老いの教育」講座の開催 新 ○ICTを活用した図書館サービスの提供	669,022	市民がいつでも「学びたい」と思うものを学ぶことができる環境を整備するとともに、学習機会・学習情報の提供を促進します。併せて、ICT活用による図書館機能の充実を図ります。	生涯学習部
② 芸術文化活動の活性化と歴史・文化の伝承 ○文化財の調査・保護事業、芸術文化振興事業 新 ○新美術館オープニング事業 新 ○新美術館の運営	748,577	東広島市の歴史・文化の伝承及び市民の芸術文化活動活性化のため、文化財の調査や保護を進めるとともに、芸術文化ホールでの公演等や美術館の展覧会等運営及び管理を行います。	生涯学習部
③ 生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成 新 ○東京2020オリンピック聖火リレーの実施 新 ○東京2020パラリンピック聖火採火式の開催	369,849	生涯にわたってスポーツを実践できるようなきっかけづくりや、施設の整備及び管理運営を行うとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成に取り組みます。	生涯学習部

令和 2 年度 目的別事業群総括（ 予算 ）シート

まちづくり大綱	3 づくり	施策	2 乳幼児期における教育・保育の充実
施策の将来の目標像	子どもたちの健やかな成長のため、子育て家庭に必要な養育力を備えるとともに、質の高い教育・保育環境が整っています。		

目的別事業群名	① 幼児教育・保育の充実	主幹部局・所属	こども未来部 保育課
連携部局・所属	こども未来部	こども家庭課	
	学校教育部	教育総務課	
	学校教育部	学事課	
	学校教育部	指導課	
目的	・教育・保育の質の向上に資する取組みの推進 ・保育者の資質向上のための研修等の充実 ・幼保小の接続に向けた交流・連携の推進 ・0歳から就学までの子育て、家庭教育の支援		
成果項目 (成果物)	子育てサポート研修参加者、子育てサポーター登録数		
成果指標 (成功基準)	子どもの育ちを実感できる人の割合		
コスト情報	目的別事業群事業費(千円)		R2 年度人件費(千円)
	当初予算額	決算額	
	一般財源		一般財源
	R2 年度	491,469	
	169,451		
R1 年度	384,397		
	188,341		
		人件費総額	
		人件費/総事業費	

内容

1 乳幼児期における教育・保育の質の向上

(1) 保育環境の充実 (6,787千円 (前年度4,235千円))

① 保育の魅力の向上 (6,787千円(前年度4,235千円))

【新】ア 質の高い保育実践のための調査研究(うち2,217千円)

保育現場における質の高い実践のため、有識者等との意見交換や広島県の取組みを参考に、本市における保育のあるべき姿を探る。

イ 保育者に対するキャリアアップ等の支援

保育者のキャリアアップ・スキルアップに資する研修の実施

保育支援アドバイザー(1人)の巡回相談による若手保育士や保育事業者の支援

(2) 幼児教育環境の充実 (478,873千円(前年度376,570千円))

【拡】① 幼児教育の支援 (422,274千円(前年度312,723千円))

ア 幼稚園利用料及び預かり保育料の支給

【対象施設】 子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園及び国立大学附属幼稚園

【対象人数】 1,325人

イ 副食費(おかず、おやつ等)の支給

【対象者】 年収360万円程度以下の世帯の子ども及び全世帯の第3子以降の子ども(200人)

② 私立幼稚園への助成 (1,605千円(前年度1,872千円))

ア 優良図書等教材購入費や研修活動費の補助

【対象数】 6園

③ 市立幼稚園の運営 (14,567千円(前年度9,241千円))

ア 代替教諭・臨時教諭・養護講師の配置

イ 関係団体への負担金等

【対象】 広島県国公立幼稚園連盟、幼稚園教職員研修会

④ 市立幼稚園の管理 (14,232千円(前年度11,902千円))

ア 幼稚園運営に必要な物品購入

イ 幼稚園運営に係る諸経費

【内容】 光熱費等

⑤ 市立幼稚園の施設整備 (2,700千円(前年度18,207千円))

【内容】 八本松中央幼稚園・御園宇幼稚園空調機移設業務

⑥ 市立幼稚園の環境整備 (23,321千円(前年度22,625千円))

ア マイタウンティーチャー・学生マイタウンティーチャーの派遣

イ 教育補助員の配置

【配置人数】 御園宇幼稚園5人、八本松中央幼稚園5人

ウ 図書整備

【図書購入冊数】 御園宇幼稚園43冊、八本松中央幼稚園43冊

2 子育て家庭の養育力の向上に向けた対応

(1) 子育て力の向上 (5,598千円(前年度3,592千円))

① 子育て支援者の育成 (4,933千円(前年度3,592千円))

ア 保育士(保育所、子育て支援センター)のスキル向上、地域の子育て支援者の育成を目的とした研修開催

(ア) 子育てサポート研修

研修コース	初級	中級	上級
対象者	保育経験1～2年	保育経験5年前後	保育経験10年以上
対象者数	各コース70人		
研修内容	【専門別研修5回】 ・幼児教育1回 ・発達障害児支援1回 ・食育1回 ・応急手当講習1回 ・保護者支援1回	【専門別研修4回】 幼児教育1回 障害児保育1回 食育1回 応急手当講習1回	【専門別研修7回】 幼児教育1回 障害児保育1回 食育1回 応急手当講習1回 保護者支援1回 マネジメント2回

(イ) キャリアアップ研修

【対象者】 保育所及び認定こども園等の保育士70人

【研修内容】 広島県認定の保育士キャリアアップ研修 3回

(ウ) 東広島市保育コーディネーター養成講座、フォローアップ研修

	養成講座	フォローアップ研修
対象	市内保育施設の保育士	
対象者数	30人	70人
内容	・ソーシャルワーク ・専門機関との連携	・虐待対応の事例検討 ・巡回相談時の事例検討

(エ) 子育てサポーター養成講座

地域の子育て支援者の育成を目的とした子育てサポーター養成講座 3回

イ 学童保育指導員のスキル向上を目的とした研修

【対象者】 いきいきこどもクラブ指導員90人

【研修内容】 児童期の保育・教育、障害児支援を内容とした研修3回

ウ 子育て支援者連携会議の開催

【対象者】地域子育て支援センターの支援員

【内容】地域の子育て支援者間の情報共有と連携を目的とした会議4回

【新】②保護者の子育て力向上（665千円）

ア 電子母子手帳による子育て力向上

電子母子手帳の機能を持つアプリの導入

妊娠、出産、育児の情報を適切な時期に配信し家庭養育力の向上を支援

・アプリの機能：イベント情報の自動配信、予防接種スケジュール管理、子どもの成長記録

3 幼稚園、保育所、小学校の連携・接続の充実

(1)幼稚園、保育所、小学校の連携・接続の充実（385千円（前年度0千円））

①保育の魅力向上の推進（211千円）、幼稚園教育の推進（174千円）

幼児期の教育・保育と小学校教育の担い手が相互の共通性や相違性を理解し、問題点や課題を共有して教育・保育に取り組むため、研修や交流プログラム等による幼保小の連携推進を図る。

ア 連携研修会及び公開研究会の開催

【テーマ】子どもも大人も脳力&能力アップ！コーディネーショントレーニング

【講座回数】4回

【内容】幼稚園・保育園・小学校の情報の共有及び取組みの一体化を目指し、研修会及び公開保育を実施

令和 2 年度 目的別事業群総括（ 予算 ）シート

まちづくり大綱	3 づくり	施策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。		

目的別事業群名	① 学校運営の支援と教育内容の充実	主幹部局・所属	学校教育部 指導課	
連携部局・所属	学校教育部 教育総務課			
	学校教育部 学事課			
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・東広島市教育の伝統継承(一校一和化学習/東広島スタンダード/活発な授業研究) ・東広島市の教育資源の積極的活用 ・新学習指導要領など新たな教育課題への対応 ・質の高い教育環境の整備 			
成果項目(成果物)	<ul style="list-style-type: none"> ・第五次学校教育レベルアッププラン ・各種教職員研修 ・学校教育施設、備品、人的教育資源等児童生徒の教育環境 			
成果指標(成功基準)	「学校へ行くのが楽しい」と回答した児童・生徒の割合(小学校90%/中学校90%)			
コスト情報	目的別事業群事業費(千円)		R2 年度人件費(千円)	
		当初予算額		決算額
		一般財源	一般財源	
	R2 年度	6,435,307		人件費総額
	3,603,403			
R1 年度	3,906,941		人件費/総事業費	
	2,637,133			

内容

1 学校運営の支援と教育内容の充実

(1) 児童生徒の学力等向上や教員の指導力向上 (308,864千円(前年度190,258千円))

① 学校教育の推進 (142,926千円(前年度21,697千円))

ア 市教育推進指定校による研究会

【指定校数】 6校

イ 「第五次学校教育レベルアッププラン」による事業実施

【実施内容】 講演会(8月)

【拡】ウ 学校運営協議会の設置 (うち180千円(前年度22千円))

【設置校数】 3校に委員45名(各15名)

エ 市教育委員会主催研修

【実施内容】 25講座30回

オ 標準学力検査(NRT)の実施

【実施時期】 6月

【実施校数】 全小学校第2学年～第4学年(国語、算数)及び第5学年(国語、算数、理科) 全中学校第1学年～第2学年(国語、数学、理科)

【拡】カ 教師用教科書及び指導書購入 (うち129,795千円(前年度8,115千円))

・新学習指導要領適応のため教師用教科書及び指導書購入(473学級)ほか

【拡】キ 社会科副読本整備 (うち1,422千円(前年度924千円))

・小学校中学年用社会科副読本の全面改訂

② 外国語教育の推進 (105,255千円(前年度102,135千円))

ア 外国語指導助手(ALT)派遣

【体制】 外国青年招致事業(JETプログラム)参加者19名(全小中学校)、コーディネーター1名

イ 外国語指導力向上研修実施

【実施内容】 小・中学校英語教育指導者研修(2回)

ウ 英検IBAの実施

【実施対象】 全ての中学校第2学年及び第3学年 約3,200人

エ 丸ごと1日英語体験～ENGLISH Challenge Day～

【対象】 中学生(45名程度)

【場所】 ひろしま国際プラザ



丸ごと1日英語体験～ENGLISH Challenge Day～の様子

③ 子どもの読書活動の推進 (29,790千円(前年度38,391千円))

【拡】ア 学校司書の配置 (うち25,864千円(前年度21,440千円))

【配置人数】 小学校11名、中学校14名

イ 学校図書館システムの活用



学校図書館での読書の様子

④ 部活動等の支援 (27,871千円(前年度23,352千円))

ア 大会及び団体への負担金、補助金

【負担金】 中学校体育連盟

【補助金】 中国中学校駅伝競走大会、東広島市小学生体育連盟

イ 児童・生徒の大会への派遣費補助

【対象大会】 中学校体育連盟主催大会、中学校文化部連盟大会、小学校文化活動の中国大会・全国大会

【対象経費】 交通費、宿泊費、機材運搬費

【拡】ウ 部活動指導員の配置 (うち3,639千円(前年度2,185千円))

【人数】 4校～4名(前年度2名)

⑤ 教育交流の推進 (3,022千円(前年度4,683千円))

ア 北海道北広島市との交流活動実施

【交流時期】 8月に受入と派遣

【受入人数】 18名

【派遣人数】 20名

イ 中国四川省徳陽市との交流活動実施

【交流時期】 7月に受入

【受入人数】 10名



全国大会社行会の様子

(2) 学校の管理運営 (1,132,282千円(前年度957,508千円))

【拡】① 小・中学校運営の支援 (53,493千円(前年度40,848千円))

ア 学校運営体制の確保

【小学校への配置数】 看護師1名、学校事務職3名、養護講師2名

【中学校への配置数】 講師8名、学校事務職4名

イ 関係団体への負担金及び補助金

【負担金】 広島県連合小学校長会、広島県公立学校校長会連合会、広島県公立中学校長会、

広島県公立小・中学校事務長会、広島県小学校教育研究会、広島県中学校教育研究会

【補助金】 東広島市小学校教頭会、東広島市中学校教頭会、東広島市立学校教育研究会

② 小・中学生への通学支援 (95,056千円(前年度94,872千円))

ア スクールバス・スクールタクシー運行

【対象小学校区】 入野小、板城小、西志和小、中黒瀬小、豊栄小、河内小、風早小

【対象中学校区】 高屋中

イ 遠距離通学児童生徒の通学費補助

【小学校】 三ツ城小、川上小、中黒瀬小、久芳小

【中学校】 高屋中、河内中

ウ 自転車通学生徒ヘルメット購入費の補助

【対象者】 市内全中学校生徒(1,330名分)
【補助率】 7割

③小・中学校の管理(933,230千円(前年度775,725千円))

ア 学校運営に必要な机・椅子等の物品購入
イ 学校施設の維持管理等に係る諸経費

④小・中学校の教材整備(50,503千円(前年度46,063千円))

ア 各教科別に必要な物品購入
イ 理科、算数、数学振興備品の購入

【拡】(3)学校の特色ある教育活動(62,143千円(前年度40,533千円))

①学校の特色ある教育活動の応援

ア 学校づくりの応援

【校内研修の充実】

- ・マイトウンティーチャーの派遣(年間1,400回分)
- ・学生マイトウンティーチャーの派遣(年間160回分)
- ・校内研修講師派遣(年間61回分)

【地域に根差した学校づくり】

- ・和文化等講師派遣(年間80回分)

【魅力ある学校環境づくり】

- ・校内緑化活動、図書館環境整備等

イ 学校経営のアドバイス

- ・学校経営アドバイザーの派遣(4名)

一校一和文化の発表



校内緑化活動



【拡】ウ 魅力ある授業の応援(うち17,492千円(前年度13,227千円))

- ・教科等指導支援員の配置(7名)←(前年度6名)

エ 学校業務の応援

- ・希望校へのスクールサポーターの派遣(97名の登録者、2,200時間分)

【新】オ コミュニティ・スクール等の推進(うち17,081千円)

- ・コミュニティ・スクール推進員の配置(8名)

(4)教育環境の充実(3,850,684千円(前年度1,724,347千円))

①小・中学校の図書館整備(14,813千円(前年度14,678千円))

ア 図書を購入

【小学校】 4,746冊
【中学校】 2,829冊

②小・中学校情報機器の管理(421,032千円(前年度259,353千円))

【拡】ア 校務・学習用学校端末の整備及び管理(うち306,266千円(前年度101,511千円))

【更新台数】 505台(小学校8校、中学校5校のPC教室学習用端末)

【整備台数】 5,340台(小学校5~6年生児童、中学校1年生生徒の1人1台学習用端末)

イ 大型提示装置(電子黒板)の整備及び管理

【台数】 60台(市内全小中学校への追加大型提示装置)

ウ 無線LANアクセスポイント・ネットワークの整備及び管理

【アクセスポイント設置数】 45個(向陽中、福富小・中学校)

エ 統合サーバ・校務支援システム運用及び管理

【対象校数】 49校(市内全小・中学校)

【新】オ 遠隔授業の試行(うち1,485千円)

【実施校数】 3校(河内小、入野小、河内中)

【拡】③小・中学校の施設整備等(3,414,839千円(前年度1,450,316千円))

ア 八本松小学校グラウンド造成

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
造成設計							
用地取得							
工事							

(八本松小学校グラウンド)
事業面積 17,396㎡
概算総事業費 約10.6億円
(R2事業内容)
造成工事

イ 川上小学校グラウンド造成(調整池を含む)

	H30	R1	R2	R3	R4
用地測量					
基本設計					
用地取得					
実施設計					
工事					

(川上小学校グラウンド)
事業面積 12,454㎡
概算総事業費 約8億円
(R2事業内容)
実施設計(R1繰越)
造成工事

ウ 福富小中学校一体型施設整備(施設改修工事含む)

	H30	R1	R2	R3	R4
基本設計					
建築実施設計					
造成測量設計					
建築工事					
造成工事					

(福富小中学校一体型施設)
事業面積 41,700㎡
概算総事業費 約10.6億円
(R2事業内容)
校舎増築等工事

エ 河内小中学校一体型施設整備(施設改修工事含む)

	H30	R1	R2	R3	R4
基本設計					
建築実施設計					
造成測量設計					
用地取得					
造成工事					
建築工事					

(河内小中学校一体型施設)
事業面積 20,800㎡
概算総事業費 約10.5億円
(R2事業内容)
校舎増築等工事

オ 志和小中学校一体型施設整備(大規模改修工事含む)

	H30	R1	R2	R3	R4
基本設計					
建築実施設計					
造成測量設計					
用地取得					
造成工事					
建築工事					

(志和小中学校一体型施設)
事業面積 32,346㎡
概算総事業費 約28.6億円
(R2事業内容)
校舎増築等工事

カ 向陽中学校大規模改修工事

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
予備設計						
実施設計						
工事						

(向陽中学校校舎及び屋内運動場)
改修床面積 6,036㎡
概算総事業費 約10.4億円
(R2事業内容)
大規模改修工事

キ PFI事業による空調設備整備(普通教室等)

	H30	R1	R2	R3~R14
調査・契約事務				
設計				
施工				
維持管理(13年間)				

(PFI事業による空調設備整備)
小中学校29校の普通教室等
総事業費 約24.2億円
(R2事業内容)
施工・維持管理(13年間)

ク その他

- ・トイレ改修工事(東西条小・板城西小・上黒瀬小・黒瀬中)
- ・学校施設長寿命化計画策定業務
- ・受水槽改修設計業務(東西条小)
- ・屋内運動場屋根改修設計業務(御園宇小)
- ・屋根防水改修設計業務(中黒瀬小)
- ・トイレ洋便器化に伴う改修

(5)児童生徒の健康の保持増進(1,081,334千円(前年度994,295千円))

①学校保健の促進(96,132千円(前年度94,489千円))

ア 各種健康診断及び各種学校環境衛生検査の実施

【健康診断実施内容】

- ・児童生徒等の健康診断
(内科検診、歯科検診、眼科検診、耳鼻科検診、結核検診、尿検査、心音心電図検査)
- ・就学時の健康診断
- ・教職員の健康診断、ストレスチェック

【学校環境衛生検査実施内容】

- ・空気中の化学物質濃度検査
- ・プール水水質検査
- ・飲料水水質検査
- ・教室等の環境検査

イ 各種保険等への加入及び関係団体への補助金交付、研修等参加費助成

【加入保険等】

- ・日本スポーツ振興センター災害共済
- ・全国市長会学校災害賠償補償保険

【負担金】

- ・日本スポーツ振興センター
- ・広島県学校保健会
- ・衛生推進者・管理者等養成講習会参加費

【補助金】

- 東広島市学校保健会

②学校給食の管理運営(985,202千円(前年度899,806千円))

ア 給食従事者の健康診断及び学校給食センター内衛生管理検査の実施

【検査内容】

- 定期健康診断(7~8月)、腸内細菌検査(毎月2回)、ノロウイルス検査(10~3月に月1回)、衛生管理検査(年2回)

【健康診断対象給食従事者人数】 90名

イ 給食従事者への研修の実施

【研修内容】

- 栄養教諭・学校栄養職員研修会(6月、1月)、学校給食業務研修会(8月)

ウ 学校給食センターの施設等の管理及び各受配校配膳室の物品等の管理

(ア) 東広島学校給食センター施設等の管理

(イ) 西条学校給食センター施設等の管理

(ウ) 東広島北部学校給食センター施設等の管理

(エ) 安芸津学校給食センター施設等の管理

- ・空調設備及びボイラー更新(ESCO事業)(うち2,000千円)

【新】エ 学校給食費管理システム導入(うち23,851千円)

【内容】 給食費徴収業務

【構築期間】 令和2年7月~令和3年1月

【稼働時期】 令和3年4月~

令和 2 年度 目的別事業群総括（ 予算 ）シート

まちづくり大綱	3 づくり	施策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。		

目的別事業群名	② 特別なニーズに対応した教育の充実	主幹部局・所属	学校教育部 指導課	
連携部局・所属	学校教育部 教育総務課			
	学校教育部 学事課			
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における特別な支援を要する児童生徒の学びの基盤整備 ・一人ひとりの教育的ニーズへの対応 			
成果項目 (成果物)	<ul style="list-style-type: none"> ・第五次学校教育レベルアッププラン ・各種教職員研修 ・人的教育資源等児童生徒の教育環境 			
成果指標 (成功基準)	特別支援学級に在籍する児童・生徒保護者の教育活動に対する肯定的回答の割合(75%)			
コスト情報	目的別事業群事業費(千円)		R2 年度人件費(千円)	
		当初予算額		決算額
		一般財源	一般財源	
	R2 年度	475,839		人件費総額
	466,861			
R1 年度	426,733		人件費/総事業費	
	421,570			

内容

1 特別なニーズに対応した教育の充実

(1) 特別な支援を要する児童生徒への教育推進 (297,741千円(前年度257,728千円))

障害等による特別な支援を要する子ども及び外国につながる子ども一人ひとりのニーズに適切に対応し、特別支援教育及び日本語指導等教育活動の充実を図る取組

① 特別支援教育の推進 (7,716千円(前年度6,256千円))

ア 特別支援教育サポーター及び特別支援教育大学生サポーターの派遣

【派遣回数等】 特別支援教育サポーター 3,700時間分、特別支援教育大学生サポーター 600回分

イ 特別支援教育担当者会及び巡回相談の実施

【担当者会回数】 3回 (特別支援学級担当者ほか対象)

【巡回相談員派遣回数】 15回分

ウ 特別支援教育相談員の配置

【人数】 1名

② 外国につながる児童生徒への教育の推進 (2,811千円(前年度340千円))

ア 通訳者及び支援員の派遣

【派遣回数】 通訳者 60回分、支援員 30回分

イ 指導者研修の実施

【対象】 日本語指導学級担当者等

【新】ウ 日本語指導教育充実に資する拠点校の指定 (うち2,389千円)

【設置数】 日本語指導学級のある小学校1校

③ 小・中学校教育支援者の配置 (287,214千円(前年度251,132千円))

ア 教育補助員の配置

【配置人数】 80名(小学校 58名、中学校22名)

【拡】イ 学校教育支援員の配置 (うち104,071千円(前年度76,987千円))

【配置人数】 41名
(小学校) 29名←(前年度27名)
(中学校) 12名←(前年度8名)

(2) 多様なニーズに応じた教育に対する支援 (178,098千円(前年度169,005千円))

① 小・中学校の就学支援 (174,939千円(前年度166,847千円))

【内容】 就学援助、就学奨励

② 私立学校等への助成 (3,159千円(前年度2,158千円))

ア 賀茂高等学校定時制への補助金交付

【補助内容】 講演会の開催、部活動全国大会遠征等に要する経費

イ 近畿大学附属広島高等学校東広島校及び呉武田学園武田高等学校への補助金交付

【補助内容】 教材費、教育研究機器などの購入に要する経費

【新】ウ 賀茂北高等学校活性化事業への補助金交付 (うち1,000千円)

【補助内容】 地域主体による学習環境整備に要する経費の一部

令和 2 年度 目的別事業群総括（ 予算 ）シート

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。		

目的別事業群名	③ 地域と連携した青少年健全育成の環境づくり	主幹部局・所属	学校教育部 青少年育成課
連携部局・所属	生涯学習部 生涯学習課		
目的	児童生徒と学校関係者や地域住民がより深い信頼関係を築くための環境づくりの推進		
成果項目 (成果物)	心のサポーター・スクールソーシャルワーカーの派遣、適応指導教室		
成果指標 (成功基準)	不登校児童生徒数平成30年度対比割合(10%減少)		
コスト情報	目的別事業群事業費(千円)		R2 年度人件費(千円)
		当初予算額 一般財源	
	R2 年度	81,402 75,269	人件費総額
	R1 年度	68,076 63,391	人件費/総事業費

内容

1 地域と連携した青少年の健全育成の環境づくり

(1) 青少年の諸課題の未然防止と早期対応 (39,465千円(前年度30,453千円))

① 生徒指導の推進 (39,465千円(前年度30,453千円))

【拡】ア 心のサポーターの配置(うち18,812千円(前年度9,798千円))

【配置時間】

〈小学校〉 3,120時間→5,520時間
〈中学校〉 4,960時間→7,200時間

【拡】イ スペシャルサポートルームの整備(うち890千円(前年度0千円))

不登校及び不登校傾向児童生徒の登校を促すため、校内に安心して過ごすことのできる居場所を整備

【整備学校数】

〈小学校〉 0校→2校
〈中学校〉 2校→4校



スペシャルサポートルームの教室環境

【拡】ウ スクールソーシャルワーカーの派遣(うち6,105千円(前年度5,343千円))

【派遣人数・時間】 4人 1,250H → 5人 1,380H

エ 適応指導教室の運営

【運営体制】 指導員(西条、黒瀬、豊栄) 4人

(2) 安全・安心に過ごせる児童生徒の居場所づくり(41,937千円(前年度37,623千円))

① 青少年の健全育成を支える環境づくり(41,937千円(前年度37,623千円))

ア 地域と学校の連携・協働の推進(うち8,865千円)

【拡】(ア) 放課後子供教室の実施(うち8,561千円(前年度6,963千円))

【実施場所】 22カ所→24カ所
【スタッフ数】 コーディネーター 24人
学習アドバイザー、安全管理員 150人
【活動回数】 各教室 25回/年



放課後子供教室での活動の様子

【新】(イ) 地域学校協働活動推進員の配置(うち304千円)

地域学校協働活動推進員による地域学校協働活動の総合化を図り、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進

【配置校区・配置人数】

〈小学校〉 風早小学校区 1人 〈中学校〉 福富中学校区 1人 〈小中学校〉 高美が丘小中学校区 1人



地域学校協働活動(学習支援・体験活動・地域による学校支援)の様子

イ 地域による登下校の見守り活動等

(ア) 学校へのスクールガードリーダーの派遣

【派遣人数】 7人

【派遣回数】 〈安全対策に関する指導助言〉7人×12回 〈犯罪防止教室〉51校×1回

(イ) 青少年指導員による地域の巡視・声かけ活動

【指導員数】 8人

【活動時間】 6時間×40週 /人

(ウ) 学校安全ボランティアによる登下校の見守り活動

【学校安全ボランティア登録者数】 14,361人

ウ 児童青少年総合相談室での教育相談等

【相談体制】

教育相談員 1人/日(週6日)、臨床心理士 1人/日(週3日)、児童厚生員 1人/日(週5日)

エ 児童青少年センターの管理運営

【運営体制】

児童青少年センター : センター長 1人、活動推進員 1人
第2児童青少年センター: センター長(1人)、活動推進員 2人

オ 青少年健全育成活動団体への補助金交付

【補助金交付団体】

青少年育成東広島市民会議及び”社会を明るくする運動”東広島市推進委員会



青少年の健全育成活動を実施する団体による活動の様子

令和 2 年度 目的別事業群総括（ 予算 ）シート

まちづくり大綱	3 づくり	施策	4 新たな価値を創造する人材の育成
施策の将来の目標像	多くの子どもたちが最先端技術に関心を持ち、行政と地域の大学や試験研究機関、企業等が連携し、質の高い学びの機会が提供されています。		
目的別事業群名	① 理科系教育分野等の教育内容の充実	主幹部局・所属	学校教育部 指導課
連携部局・所属			
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・創造性あふれる人材の育成 ・本市教育への地域資源である大学等の活用 		
成果項目 (成果物)	<ul style="list-style-type: none"> ・第五次学校教育レベルアッププラン ・大学・企業と連携した最先端の研究体験 		
成果指標 (成功基準)	<ul style="list-style-type: none"> ・科学の芽成講座参加児童・生徒の学習満足率(90%) ・理科観察実験アシスタント配置校における理科授業が好きな児童の割合(95%) 		
コスト情報	目的別事業群事業費(千円)		R2 年度人件費(千円)
	当初予算額	決算額	
	一般財源	一般財源	人件費総額
	R2 年度	16,310 15,934	
R1 年度	5,551 5,259	人件費/総事業費	

内容

1 理科系教育分野等の教育内容の充実

(1)子どもたちの理数系教育分野への興味・関心醸成(16,310千円(前年度5,551千円))

子どもたちの理数系教育分野への興味・関心を喚起するとともに、特に科学に興味のある児童・生徒の理数能力を高めるため、大学、研究機関と連携し、教育内容を充実させる取組

①児童生徒の科学の芽成(8,577千円(前年度4,673千円))

ア 科学の芽成講座の開催

【実施時期】 令和2年9月～令和3年2月

【実施場所】 市内各小中学校

【講師】 広島大学・近畿大学工学部・広島国際大学の教員、市内企業の技術者



化学分野の講座



天文学分野の講座



生物学分野の講座

【新】イ プログラミング体験器具の配備(うち5,055千円)

【対象校】 市内全小学校

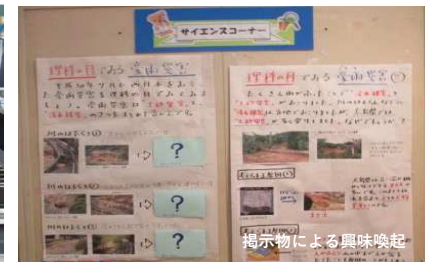
【配備数】 204台

【拡】②理科観察実験アシスタントの配置(1,130千円(前年度878千円))

大学院生等12人(前年度9人)を市内小学校へ派遣
【配置時期】 9月～2月



実験器具の整備



掲示物による興味喚起

【新】③めざせ！未来のノーベル賞 科学の芽成長プロジェクト実施(6,603千円)

ア 年間を通じて科学研究を実施する「めざせ！未来のノーベル賞プロジェクトチーム」の立ち上げ(上級コース)

【対象者】 市立小の高学年児童・中学校生徒希望者 定員20名

・近畿大学の講師による講演の実施

【開催時期】 6月、10月、11月

【会場】 近畿大学工学部

【テーマ】 科学技術に関する講演

・チーム研究の実施

【実施時期】 6月～3月

【内容】 チーム研究の実施及び研究発表

・「1日まるごとサイエンス」の実施

【開催時期】 8月

【内容】 科学の甲子園ジュニア参加に向けたチームでの科学工作や課題解決を行い発表

・科学の甲子園ジュニアへの参加

【開催時期】 8月

【会場】 広島県立教育センター

イ 科学に対する興味・関心を高める講座の実施(中級コース)

【対象者】 市立小の中・高学年児童 定員40名×4回(160名程度)

・おもしろ科学実験講座

【開催時期】 9月、10月

【テーマ】 科学に対する興味・関心を高める内容

・東広島サイエンスツアー

【開催時期】 夏休み期間中

【内容】 東広島市の研究施設について見学

【見学場所】 中国電力、酒類研究所、サタケ 等(関係機関と調整)

・チーム研究の発表大会聴講

【開催時期】 3月

【内容】 チーム研究の研究発表における聴講

ウ 親子おもしろ科学実験講座(初級コース)

【対象者】 市立小の低学年児童親子 定員20組程度×2回(80名程度)

・親子おもしろ科学実験講座

【開催時期】 10月、1月(2回実施)

【内容】 親子で楽しめる科学実験講座

令和 2 年度 目的別事業群総括（ 予算 ）シート

まちづくり大綱	3 づくり	施策	4 新たな価値を創造する人材の育成
施策の将来の目標像	多くの子どもたちが最先端技術に関心を持ち、行政と地域の大学や試験研究機関、企業等が連携し、質の高い学びの機会が提供されています。		

目的別事業群名	② 子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実	主幹部局・所属	生涯学習部 生涯学習課	
連携部局・所属	生涯学習部 文化課			
目的	・創造性の豊かな子どもたちの育成を図るため、科学技術や文化芸術に関する知識の普及や啓発を行う場の設置を検討。 ・市内の大学や試験研究機関等と連携・協働し、その知見を活用した講座を開催。			
成果項目（成果物）	・「ひがしひろしまスペースクラブ」事業 ・出前美術館及び出前博物館等事業			
成果指標（成功基準）	・「ひがしひろしまスペースクラブ」参加者の活動満足度（80%） ・出前美術館、出前博物館及び芸術体験事業の活動満足度（87%）			
コスト情報	目的別事業群事業費(千円)		R2 年度人件費(千円)	
		当初予算額		決算額
		一般財源	一般財源	
	R2 年度	2,764		人件費総額
	2,764			
R1 年度	345		人件費/総事業費	
	345			

内容

1 子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実

(1) 市内大学等と連携・協働した講座の開催（135千円(前年度130千円)

市内の大学や試験研究機関等と連携・協働し、その知見を活用して子どもたちの豊かな学びにつながる講座を提供する。

① ひがしひろしまスペースクラブの実施（135千円(前年度130千円)）

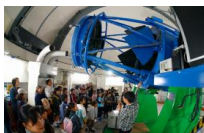
宇宙や天体について科学的な興味や関心を高める場を提供する。
 対象：小学生
 予定回数：8回
 延べ人数：240人(見込)
 場所：東広島天文台ほか
 (H30年度：クラブ員32人、8回開催)



ひがしひろしまスペースクラブ講義

② 東広島天文台の観望会開催

広島大学と共催し、東広島天文台で特別観望会を開催する。
 対象：市民
 回数：4回程度
 延べ人数：320人(見込)
 (R元年度特別観望会開催4回(8/30、31、11/15、16)、延べ参加者数570人)



東広島天文台

(2) 創造性豊かな子どもの育成につながる学びの充実（2,629千円(前年度215千円)

① 文化芸術体験事業（2,629千円(前年度215千円)）

「東広島市文化芸術振興プログラム」に基づき、出前美術館、出前博物館事業等の鑑賞教育を実施する。美術への興味関心を広げ、作品を視る力やコミュニケーション力を高める。

ア 出前美術館（うち50千円）

子どもたちを対象に、鑑賞教育プログラムを実施する。
 内容：美術館所蔵作品図版等を活用した授業
 回数：3回程度
 場所：市内小中学校



出前美術館
 学芸員による
 アートカードを活用した
 「版画カルタ」の授業

イ 出前博物館（うち61千円）

出土文化財や民具等を学校に持参し、間近で見て、触ってその質感を体感することにより、地元の歴史や文化・文化財への興味や関心を醸成する。
 対象：小学生・中学生
 回数：6校程度
 場所：市内小学校及び市内歴史民俗資料館、文化財



出前博物館

左：県内でも数多くの遺跡を有している東広島市の、数々の貴重な出土品を学校に持参し、見るだけでなく、直に触れる機会を提供する。
 右：地域の歴史や民俗を示す資料を収蔵・公開するための歴史民俗資料館の民具などに触れ、郷土の歴史や文化財への興味・関心を高める。

【新】ウ 芸術体験事業（学校まるごと美術館等）（うち2,518千円）

子どもたちが美術館に来館する。芸術に直に触れる機会を設ける。
 対象：市内小学4年生
 場所：東広島市立美術館
 ※小学校から美術館までの移動は借り上げバスを用いる。

小中学校で文化・芸術の体験活動を行う。文化芸術に直に触れる機会を設ける。
 対象：小中学生
 場所：市内小中学校
 目標回数：17回



所蔵作品展
 「美術のキーワード入門編」
 :具象と抽象」
 学芸員による
 小学生を対象とした
 ギャラリートーク



現代絵本作家原画展「ひらけ！わたしの絵本ワールド！」



子どもを対象とした創作活動の機会を設ける
 対象：幼児、小学生
 回数：1回
 人数：50人程度
 場所：東広島市立美術館



「ポスターでたどる現代絵本作家原画展のあゆみ」関連企画
 幼児～小学生対象ワークショップ
 「すてきな★ちぎり絵をつくらう！」

令和 2 年度 目的別事業群総括（ 予算 ）シート

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	5 知的資源と国際性を活かした人づくり
施策の将来の目標像	大学立地などの地域の特性を活かし、その知見を活かした教育が提供され、国際感覚を備え、高度な専門性を身に付けた人材が数多く育っています。		

目的別事業群名	① 大学・企業等との連携による学びの充実と国際感覚の醸成	主幹部局・所属	学校教育部 指導課	
連携部局・所属	政策企画部	政策推進監		
	生涯学習部	生涯学習課		
	生涯学習部	文化課		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・大学等の知見を活かした教育による人材の育成 ・大学(学生を含む)・研究機関・企業と地域・市民の交流、連携の促進 ・異なる考え方や文化への寛容性、国際感覚を備えた人材の育成 			
成果項目(成果物)	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次学校教育レベルアッププラン ・大学(学生を含む)・研究機関・国際協力機関・企業と地域・市民の交流及び連携活動 ・周知用チラシ、講座等 			
成果指標(成功基準)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生キャンパス体験学習に参加した生徒の学習満足度(90%) ・国際協力研修事業協力者数(230人) ・大学及び試験研究機関等との連携による主催講座等の実施回数(90回) 			
コスト情報	目的別事業群事業費(千円)		R2 年度人件費(千円)	
		当初予算額		決算額
		一般財源	一般財源	
	R2 年度	5,241		人件費総額
	5,216			
R1 年度	4,235		人件費/総事業費	
	4,221			

内容

1 大学・企業等との連携による学びの充実

(1)大学等のもつ研究成果や知見を活かす取組 (2,440千円(前年度2,862千円))

①未来創造及びキャリアの形成 (2,440千円(前年度2,862千円))

ア 中学生キャンパス体験学習

【実施期間】 7月～12月
 【対象】 市立中学校生徒
 【実施場所】 広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学



広島大学の博物館で展示物の説明を受けている様子



近畿大学で講義体験（ペーパークラフト）

イ 中学生職場体験学習

【対象】 市立中学校第2学年生徒
 【人数】 1,600人

(2)大学や試験研究機関等との連携・協働による主催講座の実施 (1,378千円(前年度1,349千円))

市内の大学や試験研究機関等と地域・市民の交流や連携を促進するとともに、市民の豊かな学びにつながる講座を提供

①大学連携の推進 (1,273千円(前年度1,261千円))

ア 「東広島学」の開催

近畿大学工学部と連携し、東広島に関する講座を実施
 【対象】 市民、学生
 【場所】 近畿大学工学部ほか
 【予定回数】 15回
 【延べ人数】 1,200人(見込)



東広島学（安芸津ウォーキング）

イ 「ひと・まち発見講座」の開催

広島国際大学と連携し、ボランティア活動への関心を高める講座を実施
 【対象】 市民、学生
 【場所】 広島国際大学ほか
 【予定回数】 8回
 【延べ人数】 720人(見込)



ひと・まち発見講座

ウ 「サマーカレッジ」の開催

広島国際大学と連携し、福祉や健康などの講義を実施
 【対象】 市民
 【場所】 広島国際大学
 【予定回数】 2回
 【延べ人数】 100人(見込)



サマーカレッジ

エ 「広大マスターズ市民講座」の開催

広島大学マスターズと連携し、生涯学習の機会を提供
 【対象】 市民
 【場所】 東広島芸術文化ホールくららほか
 【予定回数】 20回
 【延べ人数】 350人(見込)



広島大学マスターズ（スケッチ講座）

オ 「生涯学習サテライトキャンパス講座」の開催

市内大学の教授等が講師となり、専門的な内容を学ぶことができる講座を実施
 【対象】 市民
 【場所】 生涯学習センター及び地域センター
 【予定回数】 18回
 【延べ人数】 360人(見込)

②歴史の体験 (105千円(前年度88千円))

ア 「親と子の体験歴史村」講座の実施

【目的】 埋蔵文化財に対する興味と関心を高める
 埋蔵文化財に対する保護意識の涵養
 【内容】 勾玉づくりや火おこし等、親子で古代の人々の生活体験
 広島大学構内の遺跡と広島大学総合博物館の見学
 【対象】 市内小学校4～6年生とその保護者
 【場所】 広島大学構内、広島大学総合博物館
 【回数】 1回(見込)
 【人数】 親子25組、50人(見込)



親と子の体験歴史村での活動の様子

2 国際感覚の醸成

(1) JICA研修事業の研修員と市民等との交流を促進する取組 (35千円(前年度24千円))

JICA中国が実施する研修コースに協力し、市民等が幅広く研修員と交流する機会を設けることで、国際協力への意識醸成や国際性豊かな人材育成を推進

① 国際協力研修事業への協力による国際理解の促進 (35千円(前年度24千円))

ア JICA「排水処理技術コース」への協力と地域交流の促進 約2か月間

- ・ JICA研修員と児童・生徒の交流 (学校訪問)
- ・ JICA研修員と市民との交流 (ゴミ拾い活動、酒まつり参加等)
- ・ 研修講師の派遣や交流 (講義、JICA研修員による発表会や意見交換会等)

イ JICA中国が実施する各種研修コースへ協力 5コース程度/年

(2) 外国籍の方等と積極的にコミュニケーションを図る機会の創出 (1,388千円(前年度0千円))

学校における国際交流の機会を創出し、異なる考え方や文化への寛容性、国際感覚を備えた人材の育成を図る取組み

① 地域の外国人や留学生による出前授業実施 (1,388千円(前年度0千円))

国際交流を目的とした出前授業を実施

【ゲストティーチャー】 地域の外国籍の方や留学生

【年間派遣人数】 80名

【出前授業の対象】 市立小中学校

外国語活動充実を目的とした出前授業を実施

【外国語活動協力者】 英語の堪能な地域の外国籍の方

【年間対応時間数】 800時間

【対象】 市立小学校



地域の外国籍の方等をゲストティーチャーとして招聘した国際交流の様子

令和 2 年度 目的別事業群総括（ 予算 ）シート

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。		

目的別事業群名	① 生涯を通じて地域で学び、活躍できる環境の整備	主幹部局・所属	生涯学習部 生涯学習課
連携部局・所属			
目的	市民がいつでも「学びたい」と思うものを学ぶことができる環境を整備する。		
成果項目（成果物）	学習メニューブック、生涯学習まちづくり出前講座パンフレット、生涯学習パスポート（まなぶちゃんノート、ジュニアパスポート）、各種講座募集チラシ、ホームページ、生涯学習施設長期修繕計画、図書館利用案内、ブックリスト		
成果指標（成功基準）	地域センター・生涯学習センター等における主催講座開催回数（5,720回） 図書館来館者数（602,000人）		
コスト情報	目的別事業群事業費（千円）		R2 年度人件費（千円）
	当初予算額	決算額	
	一般財源	一般財源	人件費総額
	R2 年度	669,022 567,009	
R1 年度	564,225 547,595	人件費/総事業費	

内容

1 生涯を通じて地域で学び、活躍できる環境の整備

(1) 生涯学習環境の整備（323,243千円（前年度241,345千円））

多様に変化する学習ニーズや少子高齢化の進展など、今日的課題に対応するための学習機会を提供する。

① 生涯学習活動の推進（75,955千円（前年度68,358千円））

ア 人権に関する学習機会の充実（うち579千円）

(ア) 人権講座の開催

対象：市民
場所：生涯学習センター及び地域センター等
予定回数：40回

(イ) 人権研修会の参加及び開催

対象：地域センター職員等
内容：広島県人権教育指導者養成研修会や市が実施する研修への参加
予定回数：4回

イ 家庭教育支援講座の開催（うち949千円）

(ア) ブックレビュー推進講座等の開催

目的：乳児への言葉かけの大切さを伝え、言葉育てを支援する。
対象：保護者及び妊娠婦・配偶者、ブックレビューを支援したい人
予定回数：70回
場所：地域すくすくサポート等

※ブックレビュー：おはなし会や絵本を紹介するブックトークなど、乳児と本・言葉とを結ぶための様々な活動の総称

(イ) 「親の力」を学び合う学習プログラムの開催と、そのファシリテーターの養成

目的：あらゆる人がそれぞれの立場から「子育て」を身につける。
対象：市民
内容：「自ら気づき学ぶことができる力」を高めるとともに、「話のきっかけ」、「対話のツール」として開発された参加体験型学習プログラムを開催する。
予定回数：40回
場所：市内各会場



ブックレビュー推進講座



「親の力」を学び合う学習プログラム

【新】ウ 老いの教育（うち1,001千円）

高齢者にもつわる様々な社会問題に対応するため、老いを生きるための知識を体系的に学ぶ「老いの教育」を開催する。

対象：高齢者
予定回数：10回×2
場所：東広島芸術文化ホールくらら

エ 講座等の開催

【新】(ア) 広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」支援事業で作成した講座の開催（うち390千円）

目的：学習プログラムをコーディネートできる人材の育成を図る。

対象：市民
予定回数：45回
場所：地域センター及び生涯学習（支援）センター等

(イ) 主催講座の開催（うち20,806千円）

対象：市民
場所：地域センター及び生涯学習（支援）センター等

(ウ) 市民の希望より市職員等が講師となり、地域に出向いて行う出前講座の開催（うち132千円）

オ 生涯学習推進員等の配置とセンター職員等研修（うち42,514千円）

(ア) 生涯学習推進員等の配置

目的：本市の生涯学習事業の企画立案及び実施
内訳：社会教育指導員（2人）、生涯学習推進員（12人）、生涯学習相談員（1人）
志和生涯学習センター長（1人）、三ツ城コミュニティハウス副所長（1人）

(イ) 研修会の参加及び開催

対象：地域センター職員等
内容：県や市が実施する研修
予定回数：14回

カ 生涯学習情報の提供と成果発表・活用及びきっかけづくり（うち8,371千円）

・東広島市生涯学習フェスティバルを開催し、成果発表などの場を提供する。
・学習メニューブックを発行し、生涯学習情報を提供する。
・生涯学習パスポートに活動歴等を記録して学習意欲の向上等につなげる、目標達成者を表彰する。



生涯学習フェスティバル

キ 負担金ほか（うち1,213千円）

東広島市女性連合会及び東広島市PTA連合会等の活動に対して補助金を交付する。

② 生涯学習施設の管理運営（247,288千円（前年度172,987千円））

ア 施設の管理運営（うち239,288千円）

対象：市民文化センター（指定管理）、志和生涯学習センター、黒瀬生涯学習センター
豊栄生涯学習センター、安芸津生涯学習センター
三ツ城コミュニティハウス、西志和コミュニティハウス、創作村、視聴覚ライブラリー、天文台広場



市民文化センター



黒瀬生涯学習センター



三ツ城コミュニティハウス
（三ツ城小学校内）

【新】イ 施設長期修繕計画の策定（うち8,000千円）

冷暖房機器等は耐用年数を超えると部分的補修では改善できず、事後保全では施設の利用停止が長期間になる場合がある。また、複数施設の機器が同時期に故障する可能性もある。利用者の影響を最小限とするためには計画的に保全管理を行う必要がある。

目的：生涯学習施設の計画的な保全管理を行う。
対象：中央図書館、市民文化センター、黒瀬生涯学習センター、安芸津生涯学習センター
出土文化財管理センター、東広島芸術文化ホール、東広島市立美術館

効果：生涯学習部所管施設全体の修繕費用の年度ごとの平準化が図れる。

(2) 図書館機能の充実 (345,779千円(前年度322,880千円))

① 図書館の管理運営 (345,779千円(前年度322,880千円))

ア 指定管理による図書館の管理運営 (うち301,779千円)

目的: 図書館サービス計画及び子どもの読書活動推進計画に基づく市立図書館7館の管理運営
対象: 中央図書館、サンスクエア児童青少年図書館、黒瀬図書館、福富図書館、豊栄図書館、河内こども図書館、安芸津図書館



レファレンスカウンター



かがくのおはなし会



特集コーナー

【新】イ ICTを活用した図書館サービスの提供 (うち44,000千円)

内容: 図書館所蔵資料約75万点にICタグを付与する(期間は令和2年度から令和3年度)

効果: 利用者が多い館等に自動貸出返却機等を設置する。

- ・窓口業務・蔵書点検作業の軽減
- ・プライバシーの保護



自動貸出機:
R4年度からの運用開始を目指す。

令和 2 年度 目的別事業群総括（ 予算 ）シート

まちづくり大綱	3 づくり	施策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発となり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。			
目的別事業群名	② 芸術文化活動の活性化と歴史・文化の伝承	主幹部局・所属	生涯学習部 文化課	
連携部局・所属				
目的	国際学術研究都市としての特徴や、三ツ城古墳などの文化財からなる安芸国の中心地としての歴史及び吟醸酒発祥の地である日本酒文化等の「東広島らしい文化芸術」のブランド形成を図るとともに、そうしたブランド価値を活かし、まちを活性化する。			
成果項目（成果物）	文化施設の利用者数 美術館の満足度 くらの満足度			
成果指標（成功基準）	文化施設の利用者数を令和元年度の1.1倍にする。 満足度を80%以上とする。			
コスト情報	目的別事業群事業費(千円)		R2 年度人件費(千円)	
		当初予算額		決算額
		一般財源		一般財源
	R2 年度	748,577		
	691,111		人件費総額	
R1 年度	1,811,270		人件費/総事業費	
	417,683			

内容

1 芸術文化活動の活性化と歴史・文化の伝承

(1)文化財の保護と活用の取組み（28,381千円(前年度67,575千円)）

三ツ城古墳、安芸国分寺、鏡山城など時代を代表する拠点的な遺跡が存在し、史跡に指定されている。生き物は、国宝に該当する特別天然記念物オオサンショウウオをはじめ、貴重な生物が生息する。近代は吟醸酒発祥の地として、日本の20世紀遺産20選に選定された西条の酒造施設群などの文化遺産がある。現在、市内にある指定・登録文化財は193件、その他未指定のものも含め、多くの貴重な文化財がある。近年、都市化やライフスタイルの変化に伴い、貴重な文化財やその維持管理者・後継者の消滅が危惧されるため、文化財の保存と活用の取組みを行う必要がある。

①指定文化財等の管理活用（21,096千円(前年度19,877千円)）

- ア 文化遺産活用事業
20世紀遺産20選・伝統的建造物群にかかる講演会の開催 市民対象(200名) 年1回
- イ 歴史文化基本構想 活用計画策定
策定委員会及びワークショップの開催 年4回程度
- ウ 指定文化財等の環境整備
文化財所有者による環境整備への謝金、市所有文化財の草刈等の委託
- エ 市所有文化財の公開管理
市所有指定文化財や文化財施設(歴史資料館や歴史公園・歴史広場)の公開と維持管理
- オ 教育普及事業
リーフレットの新規作成や増刷。文化財防火デー防火訓練の実施。講師派遣。
- カ 文化財修理事業等への助成
国指定文化財管理2件、市指定文化財保存修理1件



西条酒蔵通り



市指定文化財 並瀬寺本堂



特別天然記念物 オオサンショウウオ

②文化財の調査と保護（3,973千円(前年度8,919千円)）

市内に所在する各種の文化財について基礎調査を行う。
重要なものは詳細調査を行い、指定・登録等に取り組み、文化財の適切な保護を図る。

- ア 文化財保護審議会の開催
文化財指定等に係る審議会の開催 年3回 委員15名
- イ 伝統的建造物群保存対策調査
3年次目 委員会の開催(答申)
- ウ 文化財基礎調査の実施
建造物や動植物の調査、調査報告書の作成



③文化財施設等の整備（3,312千円(前年度38,779千円)）

文化財施設等(説明板、案内標識、市所有指定文化財など)の新設や修繕を行う。
歴史民俗資料館や文化財収蔵庫などの施設集約に取り組む。

西条酒蔵通り/国登録有形文化財(建造物)



八本松歴史民俗資料館



三永歴史民俗資料館

- ア 文化財施設等の修繕・新設
(7) 説明板等の新設や修繕
新設:説明板・案内標識各3基(計6基)、 修繕:説明板・案内標識各4基(計8基)
- (1) 指定文化財の修繕
国重文旧木原家住宅外壁修繕 漆喰壁面の修繕80㎡

(2)埋蔵文化財の調査と出土文化財の保存と活用の取組み（28,540千円(前年度30,777千円)）

宅地造成・道路建設等の各種開発事業に伴う埋蔵文化財について、事前協議・現地踏査・試掘調査及び指示・指導を行う。
必要に応じて、記録保存のための発掘調査を行い、出土した遺物及び図面・写真等を適切に収蔵・管理する。
広島大学を含む民間の調査組織(会社)が行う発掘調査に対して、指示・指導及び助言を行う。
開発業者や市民に対して埋蔵文化財に対する理解を深めてもらうため、出土文化財の保存と活用に取組む。

①埋蔵文化財調査（15,999千円(前年度19,766千円)）

各種開発事業に伴う埋蔵文化財の相談・事前協議及び現地踏査・試掘調査
協議等件数:500~800件程度
対応 :100%(事前協議は、原則2週間以内に回答)



四日市遺跡の発掘調査

②出土文化財管理活用（12,541千円(前年度11,011千円)）

出土文化財の公開活用及び埋蔵文化財に関する講座・報告会等の開催
出土文化財管理センターの入館者数:1,500人
常設展、企画展(秋季)、連続講座(10回)、発掘調査報告会等の開催



企画展の展示状況

(3) 芸術振興の取組み (242,298千円(前年度238,707千円))

芸術振興を「ふれる」「そだてる」「つくる」「つなげる」の理念により積極的に進めている。
くらを中核施設とし芸術振興が図られる中、市民文化団体においては構成員の高齢化が進む。
地域では、地域独自の芸術文化活動の振興を求める声がある中、若い世代の参画が課題である。
くらを中心とした芸術振興を図りつつ、地域の市民文化団体の活動支援が必要である。
各地の芸術文化施設との連携を進め、地域の芸術文化活動を支える人材の確保・育成を図る。

① 芸術文化振興 (242,298千円(前年度238,707千円))

ア 芸術文化ホールくらら運営管理事業 (うち231,515千円)

芸術文化活動の中核施設として、東広島芸術文化ホールの管理運営を指定管理者により行う。
芸術文化ホール年間来場者数: 335,000人
芸術文化ホール自主事業実施回数: 55回



東広島芸術文化ホール くらら



くらら 市民文化芸術活動サポートプログラム

【拡】イ けんみん文化祭事業 (うち930千円)

けんみん文化祭の運営を拡充して実施し、地域の芸術文化活動を支える人材の確保・育成を図る。

東広島地区フェスティバルの開催: 1回 (令和元年度 1,500人)

分野別フェスティバルの開催: 1回 (令和元年度 600人)



けんみん文化祭ひろしま'19 大正琴・新舞踊の祭典

【拡】ウ 地域芸術育成事業 (うち6,694千円)

地域の自主的な文化芸術活動の活性化を図るための施策を検討する。

地域の自主的な文化芸術活動を後援し、地域文化の創造を支援する。

実演芸術検討協議会の開催: 年2回

市内文化芸術活動後援: 年130件

エ 市美展運営事業 (うち3,159千円)

市民の造形芸術活動の発表の場を設け、文化芸術活動を促進する。

市美展の開催: 年1回

応募総数: 180作品

(4) 美術館活動の取組みと新美術館の整備 (449,358千円(前年度1,474,211千円))

優れた企画運営とコレクションの収集を行い、市民に対して美術鑑賞の機会を設ける。
新美術館は、「育成・創造型美術館」を目指しており、地域文化の育成や地域芸術の創造発信も取り組む。

① 新美術館管理運営 (177,284千円(前年度46,233千円))
【新】ア 新美術館オープニング事業 (うち68,697千円)

(ア) オープニング式典事業

開館に際し、オープニングセレモニーを実施する。

開催日程: 令和2年11月3日(予定)

開催場所: 新美術館1階ロビー

出席予定人数: 120人

その他: 様々な媒体を活用し、広報活動を行う。

(イ) 開館記念特別巡回展事業

開館後、「開館記念特別展」を開催し、優れた文化や芸術環境にふれる機会を創出する。

展覧会名: 生誕160年記念 グランマ・モーゼス展
素敵な100年人生

会期: 令和3年2月16日～4月6日

概要: アメリカの国民的画家グランマ・モーゼスの生誕160年を記念して開催する。

(ウ) 開館記念作品収集事業

開館を記念して特別に作品を購入する。

【新】イ 新美術館運営事業 (うち88,502千円)

(ア) 開館記念特別所蔵作品展事業

「所蔵作品展」を開催し、優れた文化や芸術環境にふれる機会を創出する。

展覧会名: コレクション展(仮)

会期: 令和2年11月3日～12月27日(予定)

概要: 40年にも及ぶ東広島市立美術館のコレクションを展示する。

(イ) 地域芸術文化育成事業

アートギャラリーの貸館受付を開始する。

受付開始日: 令和2年4月1日から(予定)

利用予定日: 令和3年4月1日から(予定)

(ウ) 個性豊かな地域芸術創造発信事業

開館以降、アートスペースで、アカデミック講座やワークショップを実施する。

アカデミック講座: 3回

ワークショップ: 3回

(エ) 維持管理事業

指定管理者により、新美術館の維持管理と円滑な運営を行う。

ウ 所蔵作品収集事業 (うち20,085千円)

所蔵作品の収集(購入、寄贈・寄託)とその調査研究を充実する。
開館を記念して特別に作品を購入する。

② 現美術館管理運営 (4,301千円(前年度15,124千円))

所蔵作品の保管等のため維持管理を行う。
所蔵作品移送後の閉館に伴う諸手続きを行う。

③ 新美術館建設 (267,773千円(前年度1,412,905千円))

展示用等の備品の購入及び所蔵作品の移送等を行う。
移送予定作品数: 833点



新東広島市立美術館



開館記念特別企画展

アン・グランド・モーゼス展「ハーバート・グリン・モーゼス展」
モダン・アート・ギャラリー 1947年
© 2020, Grandma Moses Properties Co., NY



企画展示 展示室A



アートギャラリー



アートスペース



常設展示 展示室B



現 東広島市立美術館

令和 2 年度 目的別事業群総括（ 予算 ）シート

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。			
目的別事業群名	③ 生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成	主幹部局・所属	生涯学習部 スポーツ振興課	
連携部局・所属				
目的	・スポーツを楽しむ、生涯に渡り豊かなスポーツライフを実現する環境の充実 ・市民が身近にスポーツに親しみ利用しやすい施設の整備及び管理運営			
成果項目 (成果物)	市民スポーツ大会、新春駅伝競走大会、スポーツ推進委員研修会等の開催、メキシコ選手団事前合宿の受入、オリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火採火式の開催、安芸津B&G体育館屋根改修、八本松市民プール解体工事			
成果指標 (成功基準)	全主催事業参加者数18,100人、交流事業参加人数3,200人、体育施設利用者数292,267人			
コスト情報	目的別事業群事業費(千円)		R2 年度人件費(千円)	
		当初予算額		決算額
		一般財源		一般財源
	R2 年度	369,849		
		270,234		
	R1 年度	392,075		
		268,521		

内容

1 生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成

(1) スポーツのきっかけづくりと推進体制の充実 (69,795千円(前年度67,953千円))

高齢化が進む中で、市民がライフステージにあわせた多様なスポーツにふれあえる機会や、スポーツ活動の充実を図ることが求められており、市民がスポーツへの関心やきっかけづくりにつながる様々なスポーツ行事を開催する。

① スポーツ活動の活性化 (47,926千円(前年度52,929千円))

ア スポーツ行事等の開催 (うち30,128千円)

(ア) 体育・スポーツなどの振興に関する情報収集・調査研究並びに情報提供、生きがい健康体育大学や各種スポーツ教室等の開催、スポーツに関する備品・用具の貸出業務等を教育文化振興事業団に委託する。

(イ) 健康増進や地域・職域等のコミュニケーションの醸成を図る。

a 市民スポーツ大会の開催

開催日

陸上の部:6月7日(日)

球技の部:9月27日(日)

場所:東広島運動公園ほか

(令和元年度 参加人数:3,000人)

b 東ひろしま新春駅伝競走大会の開催

開催日:1月9日(土)

場所:東広島運動公園陸上競技場発着

(令和元年度 参加人数:3,500人)

c ひろしま県央競歩大会の開催

開催日:11月29日(日)

場所:東広島運動公園陸上競技場



市民スポーツ大会

東ひろしま新春駅伝競走大会

イ スポーツを支える人材育成と高齢者の運動習慣づくり (うち6,168千円)

(ア) スポーツの普及や実技指導、スポーツに関する指導や助言を行うスポーツ推進委員(84人 令和元年度)を委嘱し、資質向上に向けた研修会を開催する。

(イ) 地域住民の健康を地域で支える仕組みづくりに向けてコミュニティ健康運動パートナー(55人 令和元年度)を育成するとともに、健康寿命の延伸に向けて高齢者が無理なく取り組むことができるスポーツの普及を支援する。

ウ 競技スポーツの振興 (うち5,260千円)

(ア) トップアスリート(広島ドラゴンフライズ)との交流を通して、競技スポーツへの関心を高め、競技人口の拡大を図る。

a 小学校訪問

開催時期:9月

場所:小学校4校程度

b バスケットボールクリニック

開催時期:9月

対象:小学生・中学生(各1回)

場所:東広島運動公園メインアリーナ



小学校訪問



バスケットボールクリニック

(イ) 全国大会等へ出場する選手又は団体に奨励金を交付する。

エ スポーツ団体の育成 (うち6,370千円)

(ア) 東広島市体育協会が行う活動を支援する。

加盟団体数:30団体(令和元年度)

(イ) 東広島市スポーツ少年団が行う活動を支援する。

加盟単位団体数:76団体(令和元年度)

② オリンピック事前合宿等の推進 (21,869千円(前年度15,024千円))

ア メキシコ選手団の事前合宿の受入 (うち12,288千円)

東京2020オリンピックに出場するメキシコ選手団(卓球、レスリング、ゴルフ)の事前合宿を支援する。

合宿予定期間

卓球:7月上旬～中旬

レスリング:7月中旬～下旬

ゴルフ:調整中

【新】イ 東京2020オリンピック聖火リレーの実施 (うち6,254千円)

東京2020オリンピックへの期待感の向上等につなげる聖火リレーを、本市で実施する。

実施日:5月18日(月)

コース:西条駅南口交差点～御園宇ランプ交差点

【新】ウ 東京2020パラリンピック聖火採火式の開催 (うち3,327千円)

東京2020パラリンピックの機運の醸成等に向けて、「東京2020パラリンピック聖火」の元となる「東広島市の火」の採火式を開催する。

開催日:8月15日(土)

場所:県立障害者リハビリテーションセンター スポーツ交流センターおびづる

(2) スポーツ施設の管理運営と整備 (282,936千円(前年度308,023千円))

市民のスポーツ活動の充実を図るため、市民が身近に親しみ利用しやすい施設を整備し、その管理運営を行う。

① スポーツ施設の管理運営 (182,367千円(前年度183,296千円))

ア 施設の維持管理と運営 (うち182,367千円)

指定管理施設:体育館(1) プール(1) グラウンド(8) コミュニティスポーツ広場(9) パークゴルフ場(2) B&G海洋センター(2)

② スポーツ施設の整備 (100,569千円(前年度124,727千円))

ア 施設の整備 (うち68,469千円)

安芸津B&G体育館に雨漏りが発生したため屋根の改修工事を行う。

イ 施設の解体 (うち32,100千円)

令和2年度に適正配置計画で廃止予定の八本松市民プールの解体を行う。

(3) 学校体育施設の市民開放 (17,118千円(前年度16,099千円))

市民のスポーツ活動の充実を図るため、学校教育に支障のない範囲で、小中学校の体育施設を市民に開放し、地域スポーツの振興を図る。

① 学校体育施設の開放 (17,118千円(前年度16,099千円))

ア 体育館・グラウンドの開放 (うち7,673千円)

(ア) 市内公立の小学校(34校)及び中学校(14校)の体育施設を、学校教育に支障がない範囲内で、スポーツ・レクリエーション活動を行う市内在住者で構成された団体を対象に開放する。

【新】(イ) 学校体育施設開放システムの構築を行う。

現在、学校開放事業は各小中学校で事務を行っており、学校教育以外の業務で負担になっているため、インターネットなどで予約状況の閲覧や、施設の利用予約等ができるシステムを構築し、利用者の利便性の向上を図る。

イ プール開放 (うち9,445千円)

市内公立の小学校のプールを、夏季休業中に無料開放する。

議案第 27 号

第五次東広島市総合計画の策定について

第五次東広島市総合計画を別冊のとおり策定することについて、東広島市議会基本条例（平成 25 年東広島市条例第 12 号）第 14 条の規定により、議会の議決を求める。

令和 2 年 2 月 12 日提出

東広島市長 高 垣 廣 徳

(提案理由)

本市を取り巻く社会情勢の変化に対応し、長期的な視点から計画的なまちづくりを推進するため、第五次東広島市総合計画を策定することについて、議会の議決を求めるものである。

(根拠条例)

東広島市議会基本条例

第14条 地方自治法第96条第2項の規定に基づく議会の議決事件は、議会と市長等が共に市民に対する責任を担いながら、計画的かつ市民の視点に立った透明性の高い市政の運営に資するため、次に掲げるものとする。

- (1) 東広島市総合計画基本構想および東広島市総合計画の策定、変更に関するもの

議案第27号

第五次東広島市総合計画の策定について

(政策企画部総合政策課)

1 提案の理由

本市を取り巻く社会情勢の変化に対応し、長期的な視点から計画的なまちづくりを推進するため、第五次東広島市総合計画を策定しようとするものである。

2 基本構想の概要

(1) 目標年次

令和12年

(2) 東広島市の将来像（第1章関係）

ア まちづくりの理念

東広島市の発展の経緯やこれまでに求めてきたまちづくりの理念を基盤として、集積した学術研究機能や、里山から田園、海まで広がる豊かな自然、多様な人材といった地域資源が相互に作用しあうことによって、「新たな価値」が生まれ、その価値が人々の仕事や暮らしなど、あらゆる地域や場面で幅広く効果的に発揮されるようなまちづくり

イ 目指すまちの姿

まちづくりの理念を踏まえ、目指すまちの姿を次のとおり掲げる。

(ア) 地域イノベーションの積極的な展開

(イ) 希望ある未来へ挑戦する新たなプロジェクトの展開

(ウ) 次の時代を見据えた地域共生社会の実現

(エ) 豊かな自然環境の保全と活用

(オ) 国際色豊かなまちの形成

ウ 将来都市像

「未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市 ～住みたい、働きたい、学びたいまち、東広島～」として、「世界に貢献するイノベーション創造のまち」及び「暮らし輝き笑顔あふれる生活価値創造のまち」の2つの方向性

からまちづくりを推進することにより、魅力ある仕事にあふれ、自然と都市環境が共存し、心豊かな暮らしが営まれることによって市民が誇りを持てるような、また、仕事や暮らし、学びを求めて多様な人材が国内外から集まってくるような「選ばれる都市」の実現を目指す。

エ まちづくり大綱

(ア) 仕事づくり 知的資源と産業力で多様な仕事生まれるまち

国内外の人々と地域との交流を促進し、多様な地域資源と組み合わせることで、魅力ある「仕事」の創出に取り組む。

また、多様な人材の就労環境の整備及び社会進出の促進や、仕事が新たな仕事を生むような好循環の形成を図ることで、成長を続けるまちの実現を目指す。

(イ) 暮らしづくり 自然と利便性が共存する魅力的な暮らしのあるまち

各地域の生活を支える拠点の形成を図り、生活交通ネットワークの充実及び生活道路網の構築を図るとともに、循環型社会の構築、良質な水の安定的な供給、公共用水域の水質の保全等に取り組む。

また、各地域の個性を活かし、多様な市民が活動し、活躍する市民協働のまちづくりを推進するとともに、全ての市民が、言語や文化の違いにかかわらず、相互の理解の下に、地域で共に活躍することができる多文化共生のまちを目指す。

(ウ) 人づくり 誰もが夢を持って成長し、活躍できるまち

乳幼児期における教育及び保育の充実、知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」を育成する学校教育の充実、学術研究機関の集積等を活かした多様な学びの機会の提供などにより、市民一人ひとりが自らの個性や能力を最大限に発揮し、生涯にわたって充実した人生を送ることができるまちを目指す。

(エ) 活力づくり 学術研究機能や多様な人材の交流から新たな活力が湧き出すまち

学術研究機能の更なる発揮や、本市が研究者、学生などによる研究や実践のフィールド及び多様な活動の場となっていくとともに、広く内外から支持されるような中心市街地の魅力づくりを推進する。

また、新たな産業用地の確保及び基幹的な交通ネットワークの強化を図るとともに、環境との調和の下に、先進的な実証実験型のプロジェクトが次々と生まれ展開していくようなまちを目指す。

(オ) 安心づくり 自助・互助・共助・公助によって安心した生活を送れるまち

災害に強い地域づくりや、行政、関係機関及び地域が連携した防災対策及び減災対策に取り組むとともに、犯罪及び交通事故の防止や、迅速かつ的確に対応することができる消防体制、救急体制及び救助体制の確立を進めることで、安全・安心なまちの実現を目指す。

また、総合的な医療体制の確立を図るとともに、住み慣れた地域で生涯にわたって元気に暮らし続けることができるよう、健康寿命の延伸に取り組み、生涯現役社会の実現を目指す。

更に、医療、福祉、介護等の担い手が連携し、誰もが地域でつながり支え合う環境を形成するとともに、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進めることで、誰もが幸せを実感することができ、住みたくなるようなまちを目指す。

オ 施策体系

まちづくり大綱の5つの柱で重視する方向性を踏まえ、施策体系を、30の施策及び共通基盤で構成する。

(3) 土地利用構想（第2章関係）

土地の利用の現状や、地形的な要素、広域的な都市とのつながり等を考慮しながら、地域の特徴を踏まえ、適切かつ戦略的に土地の利用を推進する。

3 基本計画の概要

(1) 目標年次

令和6年

(2) 施策（第1章関係）

まちづくり大綱の5つの柱について、重視する方向性を次のとおり掲げる。

ア 仕事づくり

(ア) 産業イノベーションの創出

(イ) 中小企業等の活力強化

- (ウ) 企業の投資促進
- (エ) 農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化
- (オ) 地域資源を活かした観光の振興
- (カ) 働き方改革の推進による雇用環境の充実

イ 暮らしづくり

- (ア) 暮らしを支える拠点地区の充実
- (イ) 安全で円滑な生活交通の充実
- (ウ) 快適な生活環境の形成
- (エ) 豊かな自然環境の保全
- (オ) 市民協働のまちづくりによる地域力の向上
- (カ) 多文化共生と国際化の推進

ウ 人づくり

- (ア) 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進
- (イ) 乳幼児期における教育・保育の充実
- (ウ) 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
- (エ) 新たな価値を創造する人材の育成
- (オ) 知的資源と国際性を活かした人づくり
- (カ) 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり

エ 活力づくり

- (ア) 学術研究機能の発揮による都市活力の創出
- (イ) 多様性豊かな市民の力が輝くまちづくり
- (ウ) 都市成長基盤の強化・充実
- (エ) 交通ネットワークの強化
- (オ) 環境に配慮した社会システムの構築
- (カ) 未来を感じるプロジェクト挑戦都市

オ 安心づくり

- (ア) 災害に強い地域づくりの推進
- (イ) 安全・安心な市民生活の実現
- (ウ) 総合的な医療体制の確立
- (エ) 健康寿命の延伸による生涯現役社会の実現

(オ) 誰もが生き生きと暮らせる地域共生社会の実現

(カ) 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

カ 共通基盤

まちづくり大綱の5つの柱を支える共通基盤として、施策の方向性を次のとおり掲げる。

(ア) 市民ニーズの的確な把握と質の高い行政サービスの提供

(イ) 効率的で持続的な行政経営の推進

(3) 地域別計画（第2章関係）

地域資源を活かしたまちづくりを進めていくために、市内の9つの地域ごとに目指す方向性を地域別計画として定める。

（根拠条例）

東広島市議会基本条例

第14条 地方自治法第96条第2項の規定に基づく議会の議決事件は、議会と市長等が共に市民に対する責任を担いながら、計画的かつ市民の視点に立った透明性の高い市政の運営に資するため、次に掲げるものとする。

(1) 東広島市総合計画基本構想および東広島市総合計画の策定、変更に関するもの